

特集



防災

今年度最初の「防災訓練」は、より実践的で、かつ実効性が上がるよう、参加者には事前に開始時間などの細かなシナリオを与えないで実施されました。



歩行介助しながら階段を降ります。



車椅子利用者はスキットで降ります。



実際に消火器を噴射しました。

当法人では、定期的(年2回)に毎回さまざまな災害を想定して防災訓練を実施しています。今回はその防災訓練の様子と当法人の防災体制についてご説明いたします。

火災

基本的な訓練の内容は、「出火」↓「伝達・通報」↓「初期消火」↓「避難誘導」の流れで実施しています。

を押下したことがわかる「火災受信機」を備えているので、瞬時に火災場所や被害場所を把握できます。

また、その他の中島町内事業所(おおぞら・はまかせ・ひまわり)は別棟ですが、火災発生時は瞬時に本部と連絡が取れる体制を整えています。

◎伝達・通報

火災場所特定後、本部や港町事業所より消防署へ119番通報を行います。訓練では消防署にもご協力いただき、実際に連絡をして、伝える内容の確認もしています。



ご指導いただいた消防設備士の方。



火災受信機の説明を受けています。



消火器での初期消火の様子。



消防署員立会いで通報練習。



ビル内一斉放送で避難指示をします。

◎初期消火

消火設備(消火器・消火栓)が施設内のどこに備え付けられているかを日頃からの点検で確認しています。実際に火災が発生した時に使用できるように、使用訓練も行なっています。

◎避難誘導

利用者を安全に避難誘導できるよう、訓練のたびにコミュニケーションを行なっています。また、どんな利用者でも避難が出来るよう「スキット」などの避難用具を使用した訓練も行なっています。

地震・津波

2011年3月11日の東日本大震災以降、地震発生後の津波を想定した訓練は多くの施設で実施されています。当法人もサービス提供時および送迎中の地震を想定した訓練を行なっております。送迎中の訓練では地震による津波発生の可能性も考え、情報収集・本部への連絡、海抜が高い場所への移動訓練を実施しています。

最後に

比較的気候が安定している函館とはいえ、昨今の異常気象や大規模地震など「想定外」といわれる災害が多発しているため、利用者の安全を第一に考え、職員が落ち着いて対応出来る様、万全の体制を整えていきたいと思えます。

また、家庭でも万が一災害が起こった際にどのような行動を取るべきか、どのような対策が必要かを話し合っていただけだと思いません。(執筆:防災委員会)